



訪問診療・往診専門
医療法人

かさまつ在宅クリニック

かさまつ通信

No.24

令和元年9月



エコーやっています

在宅医療の現場で使用できる医療機器は、近年コンパクトになってきています。またコンパクトだけでなく、精度も非常に良くなっています。エコー（超音波装置）は、コンパクトになった機器のひとつです。腹痛などの腹部症状の原因検索、心臓、甲状腺や血管などの精査の他、最近では整形外科でも使用されるようになってきました。現在、当クリニックでは、腹部エコー（約10分程度の検査）を主にやっていますが、少しずつ診療の幅を広げていきたいと思っています。

エコーのメリットは、なんといっても非侵襲的だということです。痛みを伴う検査ではありませんので、体への負担がありません。病院にいかなくても検査ができますし、病院で詳しい検査をした方がよいかなどの判断を、まずエコーで行うことができます。病院に置いてある大きなエコーと比べても、同じくらい画像は鮮明ですので、適切な診断を行えるようになっていきます。エコーのデメリットは、胃や大腸などの消化管の検査には不向きだということです。胃や大腸の検査は、カメラでの検査がおすすめです。

エコーは、処置などの場面でも使用します。胸やお腹にたまった水を抜くときにもエコーをみながら処置をしますし、カテーテル（管）の位置確認にもエコーは非常に有用です。

気になる症状がある方やエコー検査を受けてみたい方は、一度ご相談ください。

（院長 笠松 哲司）



スペースが限られている
ベッドサイドでも検査が
可能になっています。

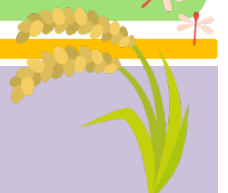


〒770-0932 徳島市仲之町2丁目8番地2

HP : <http://www.kasamatsu-zaitaku.net>

TEL : 088-679-6393

FAX : 088-679-6394





訪問診療・往診専門
医療法人

かさまつ在宅クリニック

かさまつ通信

No.24

令和元年9月



残暑お見舞い申し上げます。今年も酷暑が続きましたが、昨年よりも雨の日が多かったでしょうか？
長雨で体調を崩されたりはしていませんか？

今年の夏は、いろいろ嬉しいことがありました。

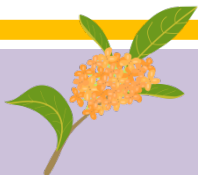
※① 在宅で胃瘻からミキサー食を注入するお子さんが増えたこと。前回の通信でも書きましたが、「おかゆヘルパー」という消化酵素製剤を用いることで、注入しやすい形状のミキサー食をお母様が手作りできるようになり、多くのお母様方が喜んでミキサー食を作ってくださいるようになりました。栄養剤のみを注入していたときよりも、体重が増えたり体格が良くなったり。あるお子さんは、入院した際も病院で離乳食を出してもらうことができ、病室でお母様が作ったミキサー食を注入できました。これはとても画期的なことで、病院の先生方も目からウロコ状態だったようです！

※② 6月14日に開催された、徳島大学小児医療研究会の学生さんによる第1回シンポジウムに参加しました。テーマは「小児在宅医療について考える」で、小児在宅医療という言葉は初めて聞いたという学生さんたちが、大変熱心に意見交換してくれました。私も、学生さんや若い研修医の皆さんに小児在宅医療の現状をお伝えすることができ、嬉しくなりまして、その様子を8月4日の徳島医学会でポスター発表しました。そしてこれは想定外でしたが、徳島医学会賞（徳島県医師会関係者）を受賞致しました。

※③ 今年もイオンモールで「うきよ連」の一連員として踊りこみました。昨年に引き続き、広場に患者さんご家族が遊びに来て下さっていたのですが、鳴り物の大きな音に刺激されたのか、お子さんが見たこともないぐらい始終ニコニコと笑っておられ、それが踊りながらもよく見えたので、とても嬉しくなりました。まさに踊る阿呆に見る阿呆、やっぱり阿波踊りには凄いパワーがあると思います！



今年は秋以降も、医療的ケア児の支援について何回か講演させていただきます。現場の声を発信していくことで、より良い支援体制構築に貢献できるよう頑張りたいと思います！（小児科 笠松 由華）



〒770-0932 徳島市仲之町2丁目8番地2
HP : <http://www.kasamatsu-zaitaku.net>

TEL : 088-679-6393
FAX : 088-679-6394

